

## 紹介

# 平成21年度日本獣医師会獣医学術受賞 研究業績及び受賞者の紹介

本年度の日本獣医師会獣医学術賞選考は、奨励賞は日獣会誌の平成19年8月号（第60巻第8号）から平成21年7月号（第62巻第7号）に掲載された原著・短報を対象に、学会賞は学会年次大会（宮崎）において発表された地区学会賞の中から選考された学会賞に、功労賞は推薦のあった永年の功労の業績の中から、選考委員会において厳正に審査され、平成21年度日本獣医師会学会年次大会（宮崎）会期中に開催された授与式において本会山根会長から受賞者代表へ本賞及び、協賛会社（日本全業工業株、共立製薬株、日本ハム株）から研究奨励金20万円（目録）が授与された。表彰された研究業績ならびに受賞者を以下に紹介する。

## 日本獣医師会獣医学術賞

### 【産業動物部門】

奨励賞：「馬の喉嚢真菌症85例の治療成績」

樋口 徹（北海道日高地区農業共済，他  
組合家畜診療センター）

学会賞：「牛マイコプラズマ性乳房炎の迅速簡易診断技術の開発とその応用に関する研究」

樋口豪紀（酪農学園大学），他

功労賞：「乳牛に多発する肢蹄疾患の治療と予防に関する研究と応用普及」

大竹 修（元・岡山県農業共済組合  
連合会家畜診療研修所長）

### 【小動物部門】

奨励賞：「新WHO分類による犬・猫の悪性リンパ腫の組織学的診断」

坂井祐介（東京大学大学院  
農学生命科学研究科），他

学会賞：「小腸内異物の犬43例及び猫1例における超音波検査所見」

高橋雅弘（高橋ペットクリニック・福岡県），他  
功労賞：「小動物の血液病学に関する研究並びに臨床獣医学の発展への貢献」

前出吉光（北海道大学・名誉教授）

### 【公衆衛生部門】

奨励賞：「と畜場に搬入された豚から検出された *Streptococcus suis* の疫学的検討」

土屋祐司（浜松食肉衛生検査所），他

学会賞：「GC/MS/MSによる食肉中の残留農薬一斉分析法 —GPCを用いない簡易前処理法の開発—」

近藤貴英（さいたま市健康  
科学研究センター），他

功労賞：「と畜場及び食鳥処理場における微生物制御並びに食中毒細菌の制御に関する研究」

品川邦汎（岩手大学・名誉教授）



平成21年度日本獣医師会獣医学術賞の受賞者（左から、樋口豪紀，高橋雅弘，近藤貴英，樋口 徹，大竹修，坂井祐介，前出吉光，土屋祐司，品川邦汎の各氏）。